

『ロシアはウクライナ侵略をやめて ただちに撤退せよ！緊急行動』

民報

おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24-2021
Fax 24-2049



水沢メイプル前にて

その後リレートークで各呼びかけ団体から「ロシアは、この侵略で核施設を標的にし、核兵器使用をちらつかせ、威嚇している。核兵器廃絶こそ戦争をなくす一番の方法だ」「一般市民を標的とした攻撃には強い憤りを感じる。特に小児科、産科のある病院を攻撃していることは許せない。ただちに撤退を！」「戦争は何も生み出さない。大きな世論で今すぐに戦争を終わらせよう」と呼びかけ訴えました。

3月12日、メイプル前において『ロシアはウクライナ侵略をやめてただちに撤退せよ！緊急行動』が行われました。緊急の呼びかけにも関わらず、約40名が参加しました。呼びかけ団体は、胆江労連、新婦人水沢支部、胆江民商、水沢地区原水協、日本共産党奥州市委員会の5団体です。

初めに、瀬川貞清原水協事務局長(市議)の進行で経過報告があり、続いて共産党を代表して千田美津子県議がマイクを握りました。

千田県議は「ロシアによる今回の軍事侵攻は国連憲章のルールに違反することは明らかであり、プーチン大統領がどんな理由をつけても決して許されるものではない」と厳しく糾弾。そして「国連総会でもロシアの軍事行動の中止を求める決議が141か国という圧倒的多数で採択された。この国際世論でロシアを包囲し、侵略をやめさせよう」と述べました。また今回のウクライナ危機に乗じて自民党や日本維新の会、国民民主党が「国連は無効だ」「9条では日本を守れない」などと主張し、「核共有」「敵基地攻撃能力の保有」など軍事強化を求める動きを強めていることに言及。「日本が『力の論理』で軍事的緊張に向き合えばロシアと同じ侵略国の立場に陥る可能性もある。いまこそ9条を守り、活かした平和外交を」と呼びかけました。

《お知らせ》

「ウクライナに平和を・戦争反対集会」

とき 3月21日(月・祝)午前11時から
ところ 水沢 慶徳公園(水沢図書館南)
※集会後、アピール行動が予定されています。
公園周囲を一周します。



3月10日(木)、重税反対胆江地区集会(千葉敦実行委員長)が、今年も新型コロナウイルス感染症対策のため縮小して開催されました。胆江民主商工会と市内の農民組合の役員等約30名参加しました。



軽トラックでの自動車パレード

「3・13重税反対統一行動」

今年も縮小開催

インボイス制度の中止を

開会のあいさつで千葉実行委員長は、コロナ禍で地域経済の疲弊は深刻であり、さらなる支援策を求めるとともに、経済の活性化として消費税減税が必要だと訴えました。また、インボイス制度の導入について、「100万円以下の取引業者でも、消費税課税業者になることが求められる」として、インボイス制度の廃止を求め参議院選挙で結果を出そうと呼びかけました。

自動車パレードでアピール！

日本共産党の今野裕文市議が来賓のあいさつに立ち、市議選での支援に感謝を述べ、中小業者・農業者に大きな打撃となるインボイス制度阻止や産地活用交付金の改悪を止めさせるため、7月の参院選での躍進への支援をお願いしました。

コロナ禍により、大勢で大声を出してのデモ行進を自粛するため、市民にアピールできません。代わりに今年も自動車パレードを行いました。軽トラックなど、17台に「インボイス制度の中止」「国保税の引き下げ」「消費税引き下げ」と書かれたのぼり旗やステッカーなどを貼り、駅通りなどの市の中心街を回り、市民にアピールしました。

日本共産党
参議院議員
いわづみ 友

3月13日

岩手県で田村智子さんと演説会

岩手県で田村智子さんと訴えた演説会 木戸口英司参院議員が参加し訴えてくれました。(写真⑤)



正面にはロシアによるウクライナへの侵略に抗議する看板もあり、会場にはパネルを持って参加されている方も。

東日本大震災津波と東京電力福島第一原発事故から11年。岩手県の、被災者

私たちは侵略を許さないし、外交努力で紛争を戦争にさせない社会にしたい。大企業の儲けが優先ではなく、働く人が大切にされる社会をつくりたい。今の社会を乗り越えて、次の社会に進みたい。

田村さんの訴えを聞きながら、いろいろな感情がわき出てきました。きつとたくさんの方に届いたと思います。私たちは新しい社会をつくりたいんだ。だからみなさんと手をつなぎたい。

会場で新しい仲間を迎えました。その決意に励まされ、私も頑張りたいと思いました。